

9月に入っても、暑さが厳しいため始業式はリモートで行いました。

2 学期始業式式辞

本日から2学期が始まります。3年生にとって、三木北高校で学期始まりから終わりまで登校して学校生活を過ごすことができるのは、今学期が実質最後になります。進路に向けてしっかりとブレずに進んでいってください。

1 学期終業式の式辞の最後に、夏休みを自分の「志」を高める機会にして欲しいという話をいたしました。皆さんの心の内に「志」は高まってきているでしょうか。

この休み中に、自分の「志」のため、自ら考え、様々な準備や活動に頑張る生徒の皆さんの姿を目にすることが出来たので、振り返ってみます。

今年の夏は、昨年にも増して暑い夏休みでしたが、3年生の生徒が連日登校して進路に向けて頑張る姿勢を見せてくれました。補習に参加して頑張った人、職員室前で納得いくまで先生に質問をしたり、一日中、黙々と自学自習を進めて力をつけようとする人、先生のアドバイスを受けて志望理由書や活動実績書を仕上げている人など、目標に向けて頑張る人の表情はとても頼もしく、とても印象に残りました。

また、校外では、地域の夏祭りでの演奏、保育所での実習、緑が丘駅前清掃のほか、三木市による「平和の鐘を鳴らそう」や、町の活性化を考える「若者ミーティング」など、幅広く地域に密着した取組みに参加してくれました。特に3年生が地域のお店の活性化のため、暑い時期に取材を重ねてまとめた「三木市緑が丘・青山の絶品 Food 発見!」の冊子は、三木市長と並んで記者会見でPRを行ってくれ、複数の新聞でも取り上げられました。どの取組みも本当に素晴らしかったと思います。

自らの意志で、誰かのために主体的に行動することで、視野が広がり、自分の成長につながったことでしょう。自信をもってそれぞれの「志」に向けて歩んでもらいたいと思います。

さて、8月の初めには3回目となる卒業生の母校訪問を行いました。ご家族も含めて50名程の方が来られました。校舎を巡る卒業生の方からは、体育館ではクラブで厳しい練習に耐えて頑張った思い出、HR 教室では目茶苦茶勉強させられて大変だったけれども充実していた思い出、特別教室では、ユニークな先生の授業中の思い出などで盛り上がり、本当に懐かしさに浸っておられる様子でした。一緒に校内を廻った私には、卒業生の皆さんからは三木北にはとても愛着を感じていて、母校として自信をもてる学校だと話してくださりました。会の終わりに現役生への激励メッセージをお願いしたところ、多くの方から「最後まで

自信をもって三木北らしく頑張ってほしい」という言葉を頂きました。また、校舎が美しいことについても多く感想を頂きました。皆さんの日ごろの使用状況の良さもありますが、校務員さんが常に植木や芝生の整備や、校舎のタイルの貼り替えを下さっていることも忘れないでください。

卒業生の方は普段から学校や皆さんのことを、気にかけてくれていて、心の中で励まして下さっています。皆さんは、最後まで立志・自学・自律・共生の「三木北らしさ」を身につけられるよう、諦めることなく、自分のペースでコツコツと努力を続けて欲しいと思います。

今学期も学業、学校行事、課外活動など幅広く取組み、充実した生活をおくることができるように頑張りましょう。



空手道部の表彰のようす